
ネットワーク教育 WG

1. 目的

ICT 教育 WG では、我々の生活を支えるインターネットを運用し支える人材を育成することを主目的とし、インターネット技術だけでなく、ICT 産業を支える情報通信技術そのものの教育も視野に入れ活動します。

インターネット技術が成熟し社会のインフラとしての責任を担うようになった今、その運用にかかる人員はさほど多くないと考えられがちですが、社会のインフラになったからこそ、インターネット技術を理解しそれを支える人材の育成が急務となっています。同時に、日本の ICT 産業を牽引する人材の発掘と育成は必須であり、そもそも国境のないグローバルでフラットな構造を持つ ICT 産業の分野で世界と同じレベルで活躍できる人材の育成が求められています。

ネットワーク教育 WG では

- ・ インターネット技術を教授している教育機関への教材提供
- ・ 同教育機関へ向けた最新技術動向などを含むセミナーの開催
- ・ インターネット技術の学習者が、その学習成果を見せる機会の提供
- ・ 機会に恵まれない人材の発掘と活躍の機会の提供

などを推進することを目的として活動します。

2. WG 活動組織

主査:土本康生（東京大学）、伊勢幸一（株式会社ライブドア）

推進メンバー:トレーニングセンタージャパン世話人

シスコネットワークングアカデミー会員

賛同者: 会員および教育機関から募集

3. 活動スケジュール

2010 年 12 月: WG 発足、賛同者募集開始

2011 年 2 月: 推進メンバーの確定

3 月: 賛同者の確定・第 1 回 WG の開催

IPv4 アドレス枯渇対応 WG

1. 目的

2010 年 10 月、IPv4 アドレスの在庫が 5%を切り、2011 年中にアドレスが枯渇することは間違いない状況です。アドレスが枯渇することにより、既に社会基盤として重要な役割を果たしているインターネットやその上で行われている教育やビジネスに多大な影響を及ぼす可能性が大きいといえます。

そこで当 WG では、

- ・ IPv4 アドレス枯渇対応についての最新情報提供
- ・ IPv4 アドレス枯渇対応に関する教育セミナーの実施・支援
- ・ IPv6 への移行支援
- ・ IPv6 関連技術習得に係る資格試験認定支援

などを主な活動目的としてまいります。

2. WG 活動組織

主査: 江崎浩 (ICT 教育推進協議会会長/IPv4 アドレス枯渇対応タスクフォース代表)

※もう 1 名調整中

推進メンバー: IPv4 アドレス枯渇対応タスクフォースメンバー
IPv6 普及・高度化推進協議会メンバー

3. 活動スケジュール

2010 年 12 月: WG 発足、賛同者募集開始

2011 年 2 月: 推進メンバーの確定

3 月: 賛同者の確定、第 1 回 WG の開催

国際化 WG

1. 目的

現在我が国では、進展する国際化と ICT のインフラ化の中で ICT 分野における産業界と教育界の間に人材の需給のミスマッチが深刻化しています。

当 WG では、産業界と教育界からそれぞれヒアリングを行い、迫りくる国際化の波にどのように対応すべきかを早急に検討し最終的には両者の橋渡し役になることを目的とし、以下のような活動を行っていきます。

- ・ 産業界と教育界それぞれからの問題点ヒアリング
- ・ 産業界が求める人材に育てるための ICT 教育支援
- ・ ICT 教育指導者の育成支援
- ・ 留学生対応支援
- ・ 資格制度の効率化
- ・ 海外教育現場との連携と交流
- ・ 最新情報提供

2. WG 活動組織

主査:山口英（ICT 教育推進協議会運営委員/奈良先端化科学技術大学院大学）

推進メンバー： 調整中

賛同者： 全ての会員から募集

3. 活動スケジュール

2010 年 12 月：WG 発足、賛同者募集開始

2011 年 2 月： 推進メンバーの確定

3 月： 賛同者の確定、第 1 回 WG の開催

教育インフラ WG

1. 目的

デジタル通信技術の発展および普及とブロードバンド化により、インターネットは日常生活の様々なコミュニケーションに必要不可欠なものになりました。近年インターネット上での電話・メール・テレビ会議・Web 会議などの様々なコミュニケーションツールを統合することによりもたらされる、効率的なコミュニケーション手段として急速に発達しています。

既に企業においては、固定、携帯電話、PC、PDA といった情報端末の種類に依拠することなく、様々な通信手段やコミュニケーション手段を統合する（ユニファイドコミュニケーション）ことにより、協同作業(コラボレーション)環境を実現して生産性の向上、コスト削減に貢献しています。

ビジネス社会に急速に普及しつつあり、グローバルなコミュニケーション環境の構築や教育分野などへの応用も期待されているユニファイドコミュニケーションをツールとして使いこなせる人材を育てると共に時間や場所に依存しない知の共有を実践することを目的に活動いたします。

2. WG 活動組織

主査： 小野寺好広（シスコシステムズ合同会社）

推進メンバー： 調整中

賛同者： 会員および教育機関から募集

3. 活動スケジュール

2010 年 12 月:WG 発足、賛同者募集開始

2011 年 2 月: 推進メンバーの確定

3 月: 賛同者の確定、第 1 回 WG の開催

モバイル WG

1. 目的

携帯電話、スマートフォン、書籍リーダー、PC カーナビゲーションなどのワイヤレスデータ通信技術、無線 LAN、Bluetooth、NFC などのモバイル関連技術は、新しい社会を創造するキーテクノロジーとして、重要な役割を果たしています。急速な技術の発展に伴いモバイルシステムの十分な技術水準をもつ ICT エンジニアは大幅に不足しており、その育成が急務となっております。

モバイル WG では

- ・ 教育機関(現場)指導者へのモバイル技術支援
- ・ 最新技情報の提供と交流
- ・ 継続的なトレーニング支援
- ・ モバイル・アカデミック認定校制度導入

などを推進することを目的として活動します。

2. WG 活動組織

主査: モバイルコンピューティング推進コンソーシアムより選出予定

推進メンバー: 木下稔雅(ICT 教育推進協議会運営委員/日本電子専門学校)他 2～3 名
別途適任者の打診、推薦で確保

賛同者: 会員および教育機関から募集 (30 名 第一次)

3. 活動スケジュール

2010 年 12 月:WG 発足、賛同者募集開始

2011 年 2 月: 推進メンバーの確定

3 月: 賛同者の確定、第 1 回 WG の開催

女性エンジニア育成・サポート WG

1. 目的

いまや ICT は、身近なものとなり、また、利用する ICT の半数は女性であることを考えると、女性の意見や感性は、重要で、必要不可欠です。

にもかかわらず、ICT 業界で活躍する女性エンジニアはまだまだ少ないのが現状です。

そのため、女性エンジニアの多くは、同じ会社や自分の周辺に、相談できる女性エンジニアや目標となる女性エンジニアのロールモデルが少ないと感じています。

女性エンジニアが少ない原因の 1 つは、ICT 業界はきびしく、女性がつ感性やセンスが反映されない仕事であるとのイメージが先行していることです。

このような背景から、ICT 業界をよく知ってもらう PR 活動を通じ、ICT 業界で働く女性エンジニアを増やすこと。

また、活躍中の女性エンジニアを支援、サポートすることにより、エンジニアとして長く働けるような環境を整えていくことを目的として活動していきたいと考えています。

2. WG 活動組織：

主査:小西孝子（特定非営利活動法人エルピーアイジャパン）

推進メンバー：調整中

賛同者：女性エンジニアの育成・支援に関心のある教育機関・企業・団体等から募集

3. 活動スケジュール

2010 年 12 月:WG 発足、賛同者募集開始

2011 年 2 月：推進メンバーの確定

3 月：賛同者の確定、第 1 回 WG の開催